

きれいな空を守ろう

～大気汚染防止推進月間を知っていますか？～

例年、12月はビルや家庭の暖房の使用に加え、上昇気流による空気の入替わりが少なく、汚れた空気が地上付近に溜まりやすくなっています。

このため、国では毎年12月を大気汚染防止推進月間として推進しています。

この機会に、きれいな空を守る大切さを一緒に考えてみませんか。

地球に
やさしい活動を
しましょう

- ・公共交通機関を利用しましょう
- ・自動車を運転するときは、急ブレーキや急発進をせず、アイドリングストップをしましょう



- ・重ね着などで体温を調節し、暖房の使用を控えましょう
- ・野外で廃棄物を燃やす行為はやめましょう
(法律により一部例外を除き禁止されています)



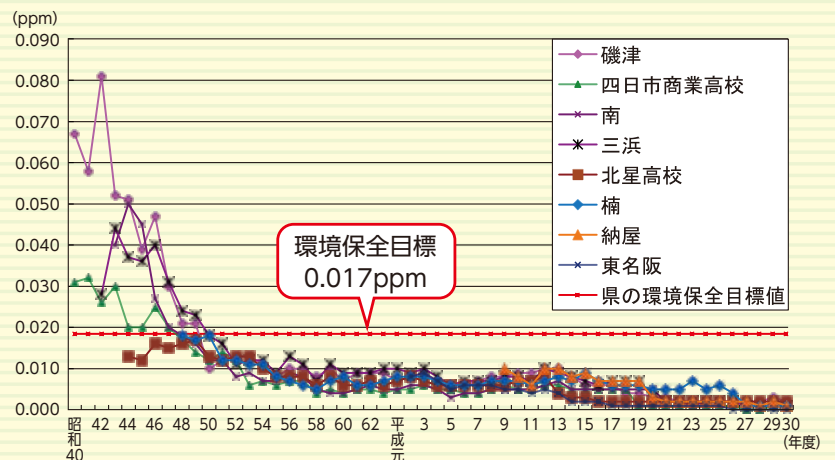
大気汚染防止だけでなく、地球温暖化の抑制にもつながります

大気汚染物質濃度を 常時監視しています

本市では、市内の大気を監視するため大気測定局を設置し、二酸化硫黄などの物質を24時間常時監視し、その結果をホームページ「かんきょう四日市」([HP](http://www.yokkaichicity.org/index.htm) <http://www.yokkaichicity.org/index.htm>)で公表しています。



■二酸化硫黄濃度(年平均値)の経年変化



四日市公害の主な原因物質である二酸化硫黄濃度は、昭和51年度に国の環境基準を市内全域で達成し、以降は良好な大気環境で推移しています。

私たちも活動しています

四日市第3コンビナート(霞ヶ浦地区)では、異業種が協働し、地球温暖化防止や環境保全への取り組みを推進するための協議会(KIEP'S)を組織しています。KIEP'Sでは、毎月第3水曜日に、自動車やバイク通勤をしている人も公共交通機関や自転車で通勤する「エコ通勤デー」を実施し、CO₂の排出削減に取り組んでいます。



KIEP'S事務局
東ソー株式会社
伊藤芽衣さん

みんなで守ろうきれいな空

市役所でもエコ通勤を推奨するなど、普段から環境を意識した取り組みを推進しています。

日本では、地球温暖化に起因する台風の大型化による豪雨災害や、農作物被害も多く発生しています。

私たち一人ひとりがきれいな空を守るため、できることから取り組みましょう。



環境保全課
平松祥吾